

広報 こうか消防119

2018
10月
第11号

隔月1回
15日発行

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

＜いざ最前線へ＞

消防職員初任教育を修了！



新人消防士 ついにスタートラインへ！

耐

えた6か月間！
成長して帰ってきました！

2018年6月の「こうか消防119」

第9号でもお伝した新人消防士5名が、約

6か月にわたる滋賀県消防学校消防職員初任教育の全課程を無事に修了し、9月27日に甲賀広域行政組合消防本部に帰ってきました。

この初任教育については、今後、消防人として歩んでいく中で、住民はもちろん、自らの命を自ら守り、不撓不屈の精神を養うため、学校教官の厳しい指導のもと、規則正しい集団生活と徹底した教育訓練をとおして、新人消防士の心身の鍛練が図られてきました。

帰ってきた5名の消防士については、この10月1日からそれぞれの消防署に配属され、消防学校で学んだ知識や技術を駆使しながら、実際の災害現場で活動することになります。

甲賀広域行政組合消防本部職員一同、現場で活動する消防士としてスタートラインに立ったこの5名の活躍に期待しています。みなさんも応援よろしくお願いいたします。

▷ 修了前実科査閲の様子



▷ 修了証書授与の様子



甲賀地域で実施

滋賀県総合防災訓練

甲賀広域行政組合消防本部・消防署では、9月2日（日）、滋賀県、湖南市、甲賀市とともに平成30年度滋賀県総合防災訓練を甲賀地域（湖南市・甲賀市）で実施しました。

滋賀県総合防災訓練は、各防災機関、関係団体、企業、地域住民や児童生徒等の参加のもとに実施し、災害時において関係者が連携して、迅速かつ的確に対応できる体制の確立と住民の防災意識の高揚を図るため、滋賀県、市町、当番消防本部（局）が主催する形で、毎年、滋賀県内で実施場所を変えて実施しているものです。

今回は、訓練当日の7時00分に木津川断層帯を震源とする大規模地震が発生。甲賀地域で震度7を観測し、建物の倒壊、火災の発生、ライフラインや

交通網の寸断とともに堤防等が破損し、また、一部地域では河川が氾濫し、多数の死傷者が発生したという想定で、湖南市の野洲川親水公園を主会場として訓練が開始されました。

主会場において行われた訓練の一つである倒壊家屋・座屈倒壊災害対応訓練では、消防隊員が倒壊家屋の屋根に開口部を設けた上で内部の検索を行い、警察、自衛隊と連携協力して、取り残された住民の救出救助と応急救護所への搬送を実施しました。

総合閉会式では、訓練開催地の代表として、本組合副管理者である谷畑湖南市長から「さまざまな災害に対応するため、訓練を重ねて各関係機関の連携強化に努めていただきたい。」と挨拶がありました。



△訓練中の様子



山岳救助研修会

を開催しました！

甲賀広域行政組合消防本部では、8月6日（月）、今年4月から発足し、運用が始まった山岳救助隊の研修として、山岳救助研修会を消防本部と甲賀市水口スポーツ森で開催しました。

研修会では、山岳ガイド（山岳ガイドステージ2）の笹倉氏を講師としてお招きし、午前の部で登山に関する基礎知識を習得するための座学を、午後の部で山岳地での滑落者を想定した救助訓練を行いました。

座学においては、登山をする場合の事前計画と、その計画に基づく登山状況の照会的重要性、また、消防が安全に山岳救助現場に到着するためのポイント等について、笹倉講師から説明がありました。

今回の研修会を受講した山岳救助隊員は、「より安全に山岳救助活動をするため、今回学んだことを実践していきたい。」と話しました。



△研修会の様子

Information いろいろ情報板

（11月9日から15日まで）

の火災予防運動を
実施します！

甲賀広域行政組合消防本部・消防署では、空気が乾燥し、暖房器具を使用する機会が増え、火災が発生しやすいこの時季に、住民のみなさんに対して、防火・防災について改めて考えていただくことを目的に、秋の火災予防運動を実施します。

火災はちょっとした気のゆるみや不注意から多く発生します。ご家庭から火災を出さないよう、日頃から火の元、火の取扱いには十分注意しましょう。

住宅防火のポイントなどについては、10月下旬の回覧板（甲賀市、湖南市内）又は、本組合ホームページのコンテンツをご覧ください。

平成30年甲賀消防管内 災害発生状況

（9月末現在）

火災	43件
救急	4,463件
救助	64件
その他	606件